

「3.11 伝承ロード推進機構」活動紹介パネルを展示させていただきました。

海上保安庁音楽隊
3.11 伝承コンサート
～いのちを守るために何をすべきか～

令和2年2月2日（日）、多賀城市民会館にて、海上保安庁第二管区海上保安本部主催「3.11 伝承コンサート」が開催されました。3.11 伝承ロード推進機構では、会場ロビーにおいて活動紹介のパネル展示と、パンフレット及び震災伝承施設を紹介するマップを来場者の皆さまへお配りしました。

1月30日開催された震災伝承ネットワーク協議会の模様が新聞紙面で紹介されたばかりということもあり、「登録施設が増えたね。」「カーナビにも掲載されるようになるんでしょ?」といったお声が寄せられました。

また、震災伝承施設の所在地を紹介したマップへの関心も高く、「今年一年をかけて潮風トレイルを縦断するつもり。その時に参考させてもらいます。」「岩手方面は言ったことがあるが、福島方面はまだ行ったことがないのでこの地図を見ながら言ってみます」「友人にも紹介したいのでもう1部ちょうだい。」と、多くの方にお持ち帰りいただきました。

展示パネルは、過去の津波災害の様子やこれまでの犠牲者数の推移、岩手県釜石市の鶴住居地区の津波浸水域とハザードマップで示された想定浸水域の比較に注目が集まりました。

今回のコンサートには約800人の来場者があり、多くの方に「3.11 伝承ロード」の取り組みをご紹介できました。同時に、コンサートの前段には3名の方の震災体験スピーチがあり、東北大学災害科学国際研究所准教授佐藤翔輔先生の総括でも、「ご本人からお話を聞くことが人々の記憶に残る。今回は貴重な機会であった。」とコメントされたように、記憶と印象に残るコンサートとなりました。

ご来場の皆様に教訓を伝えようとする海上保安庁様のお手伝いをさせていただき貴重な機会をいただきました。



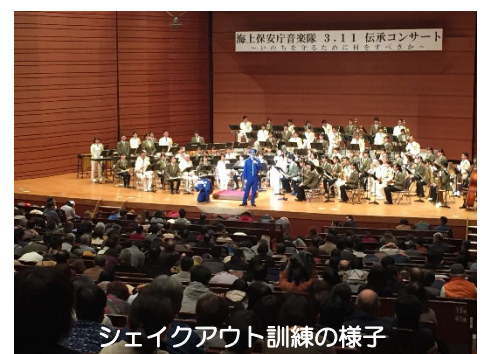
会場：多賀城市民会館大ホール



展示風景（パンフレット、マップ配布）



展示風景



シェイクアウト訓練の様子



さとう宗幸さん、ゲストと
多賀城高校吹奏楽部の皆さん